

独立行政法人日本芸術文化振興会
委託事業

AUSTRALIA

オーストラリアにおける
文化芸術活動に対する
助成システムに関する実態調査
報告書 **別冊**



令和2年9月

独立行政法人日本芸術文化振興会 委託事業

オーストラリアにおける
文化芸術活動に対する助成システムに関する実態調査
報告書[別冊]

関連文献(日本語訳)
目次

■別-1 オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ

p.2

コーポレート・プラン 2019－2023 創造性は私たちをつなぐ

Corporate Plan 2019－2023 *Creativity Connects Us*

〈原文献〉

<https://www.australiacouncil.gov.au/workspace/uploads/files/australia-council-corporate-pl-5d68738684ece.pdf>

■別-2 オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ

p.16

審査パネルのためのピア・ハンドブック 2019年9月更新

PEER HANDBOOK FOR ASSESSMENT PANELS UPDATED SEPTEMBER 2019

〈原文献〉

<https://www.australiacouncil.gov.au/workspace/uploads/files/peer-handbook-5d8c0fd65c0ce.pdf>

※日本語訳中、グレーに着色されている p.1、p.2、p.3 等は、原文献の頁を表しています。

※脚注について：原注は各ページ末に、訳注は各巻末に表示しています。

- 日本語訳の公開は、本調査の報告書としての公開を目的として、一定の条件で発行者から承諾を得ております。
- 原文献に用いられているコンテンツの内、著作権が第三者に帰属する写真・ロゴ・イラスト等は使用しておりません。
- 引用等の際には、著作権者である発行者にも必ずお問い合わせください。

表紙

オーストラリア政府
オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ

Corporate Plan 2019 - 2023
Creativity Connects Us

コーポレート・プラン 2019 – 2023 創造性は私たちをつなぐ

見返し

【写真キャプション】
ガーウィン・デイビス「Kyoto II」2018年
アーカイバルインクジェットプリント
クレジット：ガーウィン・デイビス

p.1

目次

私たちのビジョン	2
私たちの目的	2
前書き	4
オーストラリア・カウンシルについて	6
私たちの役割	7
成果：「文化に意欲を持つ国 (A Culturally Ambitious Nation) 2014 – 2019」	8
環境	10
創造の風景	12
戦略目標	14
文化芸術と創造性がオーストラリアの人々を変えていく	16
文化芸術は私たち自身を映し出す	18
先住民の芸術と文化を大切に	20
文化芸術と創造性が力強く成長する	22
文化芸術と創造性を尊重する	24
パフォーマンスの評価	26
財務予測	28
ケイパビリティ	30
リスク管理と監督	32

【写真キャプション】
表紙：
サイド・ポニー・プロダクションの双方向オーディオプレイ
「ターナーズ (The Turners)」
現在オーディオプレイのアプリで入手できる。
クレジット：デビッド・コリンズ

p.2

私たちのビジョン 創造性は私たちをつなぐ

創造性は人間の天性であり、文化の源泉です。私たちはみな、文化芸術と創造性を通じてつながりあうのです。

私たちの文化芸術は人間の経験を生き生きと表現するものです。それらは個人と集団の物語、歴史、アイデンティティを体現し、人間として生きることを理解する助けとなります。それらは私たちを過去とつなぎ、未来を想像させてくれます。

私たちの先住民文化は、7万5,000年以上の歴史を持つ文化と知識、そして私たちが生きている国と私たちをつなげてくれます【原注1】【訳注1】。

今やオーストラリアを故郷と呼ぶ何百万人もの多様な人々が共有する物語は、相互理解と敬意を促進し、私たちをグローバルなコミュニティにつなげてくれます。

第4次産業革命の技術は、産業、経済、そして世界や人々との私たちの相互作用のあり方を変革すると同時に、混乱させてもいます。このデジタルの世界の接続性と創造性は、私たちのウェルビーイング（幸福感）や将来の成長と繁栄のために、これまでにないほど重要になっています。

創造的な結びつきのある国家では、創造的な事業が、社会的、文化的、経済的成功の燃料として、社会、産業、政府を横断して根付いています。

私たちの目的は、 オーストラリアの文化芸術と創造性を擁護し、 それに投資することです。

【原注1】 この文書では、アボリジニとトレス海峡諸島の人々とその芸術・文化を敬意をもって表現する意味で、「アボリジニとトレス諸島」「ファースト・ネーション」「先住民」という表現を意味の区別なく使っています。アボリジニとトレス諸島の人々の中には、これらの言葉を快く思われない方がおられることを理解しています。オーストラリア・カウンシルがこれらの表現を使うときは、尊敬の意味しかありません。

p.3

【写真キャプション】
ケアンズ先住民アートフェア2018
(Cairns Indigenous Art Fair 2018)
イメージ・コピーライト：CIAF 2018。
クレジット：ラブグリーン

p.4

前書き

2014年、オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ

ツは、5年間のストラテジック・プラン「文化に意欲を持つ国 (A Culturally Ambitious Nation) 2014-2019」を公開し、オーストラリアの文化芸術と創造性に対するビジョンおよび優先課題を共有しました。この戦略は「2012年オーストラリア・カウンシル・レビュー」を含む相当数のコンサルテーションに基づいています。また、カウンシルの大改革につながった2013年の新オーストラリア・カウンシル法にも対応しています。

この「コーポレート・プラン 2019-2023」では、私たちの新戦略「創造性は私たちをつなぐ (Creativity Connects Us) 2020-2024」^{【原注2】}を掲げています。この戦略は、50年以上にわたる文化芸術への助成・開発・調査研究から得られたカウンシルの専門技術と知識に加え、深く厳密なエビデンスの集積およびコンサルテーション・分析についての、文化芸術セクターと一般市民からの何千もの回答に基づくものです^{【原注3】}。

2020-2024年の戦略的優先課題は、急速に変化するオーストラリアの文化芸術と創造性の風景に対応するものであり、「文化に意欲を持つ国 (A Culturally Ambitious Nation)」の成果を踏まえたものでもあります。

創造的な生活を送ることで得られるインスピレーション、満足感、ウェルビーイングを、あらゆる人が常に体験できるようにしたいと私たちは考えています。

私たちは、刺激的な文化芸術体験が、親しみやすく、アクセスしやすく、歴史性と現代性を併せ持つ私たちのユニークで特別な文化を反映するものであってほしいと考えています。

私たちは、アーティストや文化芸術団体に投資し、彼らが新たな課題に対応し、自分たちの創造的な可能性を十分に発揮し、創造に関わる新しい世界で成長し続けることができるよう支援したいと考えています。

あらゆる人が文化芸術と創造性への投資から恩恵を受けています。そして私たちは、この投資から得られる社会的、文化的および経済的な利益が十分に理解され認識されることを望んでいます。

オーストラリア・カウンシルの「コーポレート・プラン 2019-2023」は、2013年パブリック・ガバナンス、パフォーマンスおよび説明責任法 (PGPA法) (Public Governance, Performance and Accountability Act 2013 (the PGPA Act))^{【原注2】} 第35条 (1) 項 (b) および2013年オーストラリア・カウンシル法 (Australia Council Act 2013) 第45条の規定に基づき作成されています。

【原注2】 2013年のPGPA法で義務付けられているように、このコーポレート・プランは会計年度で2019-23年度の4年間を対象としています。カウンシルの5カ年戦略「創造性は私たちをつなぐ (Creativity Connects Us)」は、暦年の2020年から2024年を対象としています。

【原注3】 この調査研究には『オーストラリアの人々をつなぐ：全国文化芸術参加調査結果 (Connecting Australians: Results of the National Arts Participation Survey)』(2017年)、『芸術作品を創る：オーストラリアのプロフェッショナルアーティストに関する調査研究 (Making Art Work: a study of

professional artists in Australia)』(2017年)、『オーストラリア・カウンシル・ステークホルダー調査 (The Australia Council Stakeholder Survey)』(2017年)、2018-2019年度の『メジャー・パフォーミング・アーツ・コンサルテーション (Consultation for the Major Performing Arts Framework)』、『全国先住民芸術文化機関と国立芸術・障害者戦略 (National Indigenous Arts and Cultural Authority and National Arts and Disability Strategy)』が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

p.5

【写真キャプション】

オール・ザ・クイーンズ・メン

「カミング・バック・アウト・ボール (Coming Back Out Ball)」^{【原注3】}

クレジット: プリオニー・ジャクソン

私たちは、刺激的な文化芸術体験が、親しみやすく、アクセスしやすく、歴史性と現代性を併せ持つ私たちのユニークで特別な文化を反映するものであってほしいと考えています。

p.6

オーストラリア・カウンシルについて

オーストラリア・カウンシル (カウンシルとも表記) は、オーストラリア政府の主要な文化芸術助成および助言の機関です。

私たちは以下の一連の活動を通じて、オーストラリアの文化芸術と創造性を擁護し、それに投資します。

私たちは、文化芸術の創造と体験を可能にするピア審査による助成やフェロウシップ、褒賞を通して、アーティストや団体に**投資します**。

私たちは文化芸術と創造性の社会的・文化的・経済的価値を**提唱します**。

私たちはクリエイティブ・セクターとクリエイティブ産業に関わる事項について政府に助言を**提供します**。

私たちは、政府が主導する文化芸術支援のための取組と枠組を**管理します**。

私たちは、文化芸術セクターの能力を高め、オーストラリアの創造的な作品の市場とオーディエンスを増やし、より多くの人々が創造的な活動に刺激を受け、その恩恵を受けられるよう、戦略的な活動を**実現します**。

私たちは、文化芸術と創造性の役割および価値について理解を深める調査研究と分析を**実施します**。

私たちは州政府、特別地域政府、地方自治体と**協力します**。

私たちは創造性への投資と支援を増やすために、他の人々と**提携します**。

p.7

私たちの役割

オーストラリア・カウンシルは、2013年オーストラリア・カウンシル法 (*Australia Council Act 2013*) 第9条に定められているように以下の役割を有しています。

- a. 卓越性が認められるオーストラリアの文化芸術活動を支援する。
- b. 多様な活動を支援することにより、オーストラリアの文化芸術活動の卓越性を醸成する。
 - b.a 先住民の文化芸術活動を支援する。
 - b.b オーストラリアの多様性を反映した文化芸術活動を支援する。
 - b.c 文化芸術における表現の自由を尊重し、促進する。
 - b.d 文化芸術へのコミュニティの参加を促進する。
- c. オーストラリアの文化芸術に対するアーティストやその他の人々による多大な貢献を認め、それに報いる。
- d. 文化芸術の鑑賞、知識、理解を促進する。
- e. 文化芸術のための市場とオーディエンスの育成を支援し、促進する。
- f. 文化芸術、またはカウンシルの職務の遂行に関連する事項について、連邦政府に情報と助言を提供する。
- g. 文化芸術に関する調査研究を実施し、委託し、情報を公表する。
- h. カウンシルが提供する支援の効果を評価し、情報を公表する。
- i. 本法律、または連邦政府の他の法律によって与えられたその他の職務を遂行する。
- j. 上記の職務の遂行に付随する、またはそれらに資する行為を行う。

p.8

成果： 「文化に意欲を持つ国 (*A Culturally Ambitious Nation*) 2014 – 2019」

「文化に意欲を持つ国 (*A Culturally Ambitious Nation*) 2014 – 2019」の期間中、カウンシルの投資とイニシアティブは、オーストラリアの文化芸術体験の内容と射程を広げてきました。

オーストラリアの文化芸術に国境はない

私たちは、オーストラリアのアーティストや文化芸術団体が、国内全域での活動を増やせるように、国内においては国家的な開発と支援を通して、グローバルにはエビデンスに基づく国際文化芸術戦略や国際開発チームの設立を通じて助力してきました。

オーストラリアの文化芸術に対する国際的な認知度、機会、そして需要が高まっています。戦略的なパートナーシップや協力関係は、全国的に増加しています。文化芸術はオースト

リアの国際的な評価を強化し、世界的なつながりと文化交流を促進してきました。

優れた文化芸術とアーティストで オーストラリアは有名になる

私たちは創造性と革新性を育んできました。

私たちは表現の自由と実験を支える環境の中で、3万2,700点以上の新しいオーストラリアの芸術作品の創作を支援してきました。また、助成プログラムを刷新し、ピア審査員と助成申請者の多様化を図りました。現在では申請者3人のうち1人が初めての申請者です。

【写真キャプション】

上：「アッセンブリー (*ASSEMBLY*)」におけるアンジェリカ・メシティの肖像 2019年
クレジット：ザン・ウィンバリー
下：「パドゥ・ギリ (*Badu Gili*)」シドニー・オペラハウス
アーティスト：アリック・ティボティ
クレジット：ダニエル・ブード

p.9

文化芸術はすべての人の暮らしを豊かにする

私たちは偉大な文化芸術の創造と普及を支援することで、オーストラリアの人々の芸術、文化、物語との関わりを支援してきました。

オーストラリアの人々の98%が文化芸術と関わっており、現在では、文化芸術が私たちの生活やコミュニティに良い影響を与えていると認識している人が増えています^{【原注4】}。オンラインでの文化芸術との関わりは活況を呈しています。テクノロジーはより多くのアクセスを生み出し、文化芸術に新たなオーディエンスを引きつけています。

先住民の文化を大切にする

私たちは、資金援助、戦略的な市場とオーディエンスの開拓、そして戦略的な取組を通じて、先住民のアーティストをオーストラリアの文化芸術の中心に据えるように支援してきました。

私たちは、先住民の文化芸術の創造からプログラム作り、オーディエンスの参加に至るまでの、先住民の文化芸術のエコロジーにおける課題と機会について、エビデンスベースを築いてきました。さまざまなジャンルの先住民文化芸術にこれほど多くのオーストラリアの人々が参加したことはなく^{【原注5】}、先住民の文化芸術への国際的な関心も高まってきています。

【写真キャプション】

上：人気の「ビッグ・リハーサル (*Big Rehearsal*)」プログラムの一環として、若い音楽学生をリハーサル・スタジオに迎え入れるアデレード交響楽団
クレジット：シェーン・レイド
下：2019年全国先住民芸術賞

(The National Indigenous Arts Awards)

後列 左から右に：アリ・コビー・エッカーマン、
ローダ・ロバーツAQ、ビッキー・パン・ホート、
アンティ・ローラ・グリーン、レイチェル・メイザ、
アングル・ジャック・チャールズ、ジェイコブ・ボエム、
ジェナ・リー、バーノン・アー・キー
前列 左から右に：トーマス・E・S・ケリー、
リーアン・チュニパ・バックスキン、ウェズリー・エノク

【原注4】 オーストラリア・カウンシル2017年『オーストラリアの人々をつなぐ：全国文化芸術参加調査結果 (Connecting Australians : Results of the National Arts Participation Survey)』。98%の中には、録音された音楽を聴いたり、創造的な文章を読んだり、文化芸術活動に直接参加したり、オンラインで関わったり、創造的に参加したりした人が含まれます。

【原注5】 オーストラリア・カウンシル2017年『オーストラリアの人々をつなぐ：全国文化芸術参加調査結果 (Connecting Australians : Results of the National Arts Participation Survey)』。

p.10

環境

文化芸術が創造され、普及し、体験される環境は、現代の生活と活動の多くの場面に広がっています。アーティストとその作品は、オーディエンス、参加者、国内および国際的なコミュニティとの多層的かつ多方向の、絶えず変化する交流の一部です。

現在、私たちの多くは、文化芸術と直接関わるよりもオンラインで関わるようになってきました。これはテクノロジーによって、既存のものを置き換えているというより、むしろ、より多くのアクセスを創り出し、新しいオーディエンスを引きつけているということです。

創造的な表現を通してアイデアや物語、視点を共有することは、人間の本質だといえます。私たちは物語ることを通して、経験し、祝い、記念し、交流し、探求し、想像します。私たちはこれを、歴史を理解し、文化活動を実践・伝承し、起こり得る未来を探求するために行っています。このように、創造性と文化は表裏一体の関係にあります。先住民のコミュニティにとって、芸術活動は文化的な活動と切り離せないものです。また、離散した (diasporic) コミュニティにとって、それは自分たちの独特の遺産とのつながりを維持し、表現するために不可欠なものなのです。

アーティストとより広いコミュニティの間で行われるこの交流は、個人的、社会的、文化的、経済的な利益を支えます。また、相互理解と社会的結束を促す接続点をつくります。それは、あらゆる複雑さの中で自分自身と世界を見る機会を人々に与え、近く、また遠くの隣人の生活や世界について洞察を得る機会を与えてくれます。それは、子どもの発達、健康とウェルビーイングに貢献します。それは私たちが革新を起こし、境界線を押し広げ、思い込みを克服し、考え方を変えるのを助けてくれます。また、新しいものやなじみのないものへのナビゲーションも与えてくれます。それは人と人とのつながりを築き、文化を交流させ、私たちの国際的な評価に貢献します。そして、素晴らしい文化芸術の体験を称えるた

めに、物理的にも仮想的にも、私たちを一つにしてくれます。これらの利点は、個人のウェルビーイング、健康、教育、コミュニティサービス、国際問題、観光、防衛、イノベーションなど、人々、政府、産業、社会全体の多くの優先課題と交わっています。

創造性は、将来働く人々にとっても重要な財産となります。アーティストのスキルとケイパビリティは、自動化される可能性が最も低く、今後ますます求められるようになるものの一つです。アーティストは、加速する技術や社会の変化にうまく対応しながら、人間らしさとの重要なつながりを保っています。アーティストはしばしばテクノロジーの限界を押し広げ、他の産業にも通用する新しい働き方やコミュニケーションの方法を創造しています。

p.11

アーティストのキャリアの持続可能性を確保することは、創造性で結びつく国家にとって極めて重要です。私たちの文化のおよび創造的なセクターは、大きな変化と進化のただ中にあり、従来のビジネスモデルや運営・雇用方法に頼ることはもはや不可能となっています。

これらの変化の例は次のようなものです。

- 先住民文化の価値と重要性についての認識の高まり
- 急速に変化し多様化するコミュニティ
- 市場の新しい定義とオーディエンスの期待
- 誰でもどこでもオンデマンドでデジタルコンテンツにアクセスできる環境
- コンテンツを開発し、国内外の多様な人々に配信するために必要なイノベーション
- 新しい経済の現実

この進化する風景の中でクリエイティブ・セクターが力強く成長するためには、カウンシルはセクターが産業の変化に継続的に適応していけるよう支援しなければなりません。それには、多様性をもつ潜在的な力を認識し、創造性と革新性を積極的に育てる必要があります。実際にはこれは、新しい文脈に適応して成功するための支援を確実に行うこと、コミュニティにできる限り幅広い文化芸術の機会を提供すること、そして質の高い創造的な仕事と芸術表現の新しいアイデアに必要な支援を提供し続けることを意味しています。

この幅広くダイナミックな事業環境は、私たちのビジョンと戦略目標に反映されています。カウンシルは、政府、産業界、社会のあらゆる分野のパートナーと協力し、社会的、文化的、経済的成功のために創造力を活用する機会を促進していきます。私たちは、新旧の問題、課題、機会についての思考、議論、行動を牽引していきます。

その際、私たちの活動は、アーティスト、文化芸術団体や企業、連邦政府、州政府、地方自治体、そしてクリエイティブ・セクター内外の多くの公共、民間、非営利団体の活動と交わります。

【写真キャプション】

キム・ウィリアムズとルーカス・イーラインの
シード&ソング・コミュニティ植樹日-サトウキビとヒマワリ
マッケイ地区植物園〈ザ・ビーコン〉での2018年
「ウォーターシェド・ランド・アート・プロジェクト
(Watershed Land Art Project)」の一環
クレジット：ロバート・ボール

p.12

創造の風景

人、団体、構造の複雑な組み合わせが、文化芸術の創造を促進します。

カウンシルは以下のような支援、インフラストラクチャー、重要基盤からなる複雑かつ動的な生態系の中で活動しています。

- 社会的企業、個人事業者または中小企業として活動する個々の創造的活動の実践者
- 文化芸術団体
- 政府の全ての領域（国、州、準州、地方自治体）が実施するプログラムと取組
- 商業およびフィランソロピーを含む民間資金および投資
- 文化芸術に関わる政策と法律
- 行動規範とプロトコル
- アドボカシー組織
- エージェントおよび他のアーティストの代理人
- サービス組織
- 文化芸術教育とトレーニング
- 文化芸術を制作するためのスペース
- 専門家やピアのネットワーク
- コミュニティや商業を含む、セクター横断的な協力者やパートナー

p.13

これらに加えて、文化芸術を普及させる方法とそれへのアクセスポイントが、より幅広く、進化し続けるさまざまな創造的体験を推し進めます。それには、施設、公共スペース、デジタルプラットフォーム、フェスティバル、出版社、販売店、ディーラーなどがあります。また、キュレーターやプレゼンター、批評家、コメンテーター、学者、メディアの活動もそれに含まれます。コミュニティ・プログラムや見本市、アンソロジー、コレクションなどもその一部です。

アクセスと普及は、アーティストを招いての学校プログラムから、創造的学習の支援、次世代のオーディエンスの発掘、将来の創造の担い手の育成、それに経済活動とオーストラリアの世界的な評価を高める大規模な国際公演まで、多岐にわたるものです。

カウンシルは、この広大な創造と普及のエコロジー全体にわたって多くの接点を持っています。私たちは公共、民間、非

営利のパートナーと協力してオーストラリアのアーティストや文化芸術団体を擁護・支援し、戦略的な取組を執行し、新たな機会を仲介しています。私たちは、調査研究と助言の役割を通じて、文化芸術の価値と、日常生活における創造性の不可欠な役割を唱導し、クリエイティブ・セクター全体のステークホルダーの活動と優先課題への取組を支援するためのリソースとエビデンスを提供します。

私たちは、クリエイティブ・セクターの内外のパートナーやステークホルダーとの議論を牽引し、協力して生成変化する課題や機会を特定し、それらに対処していきます。例えば、アーティストの収入が低下し生活が困難になっていること、急速な社会的・技術的变化が文化芸術の制作や体験、普及に影響を与えていること、そして、アーティストの社会的価値の増大や、将来的な作品のあり方などです。

【写真キャプション】

「所属することの複雑さ (Complexity of Belonging)」
チャンキー・ムーヴ
クレジット：ジェフ・バスビー

p.14-15

戦略目標

カウンシルの活動は、5つの戦略目標に沿っています。

- 文化芸術と創造性がオーストラリアの人々を変えていく
- 文化芸術は私たち自身を映し出す
- 先住民の芸術と文化を大切に
- 文化芸術と創造性が力強く成長する
- 文化芸術と創造性を尊重する

16～25ページに概説する活動と測定方法は、2019 - 2023年度のパフォーマンス・フレームワークです。パフォーマンスは毎年検証されます。

p.16

文化芸術と創造性が
オーストラリアの人々を変えていく

私たちはオーストラリアの人々が文化芸術の体験によって魅了され、そこからインスピレーションを得る機会を増やします。

オーストラリアの全ての人々は、文化芸術と創造性の世界に迎え入れられ、オーストラリアの豊かな文化生活の恩恵を受け、楽しむことができます^{【原注6】}。社会的、物理的、地理的、個人的な事情に関わらず、全てのオーストラリアの人々が、人と人がつながる特別な文化体験に誘われていると感じられるようにする必要があります。

文化芸術は人間として生きるために欠かせない表現活動であり、私たちが互いに結びつけ、私たちの過去と現在をつな

ぎ、未来を想像するのを助けてくれます。文化芸術を体験することは、私たちがアイデアや感情、物語と結びつけ、喜びや意味、想像力や共感を呼び起こし、社会的な結束を築きます。

文化芸術体験はエリートの娯楽ではありません。オーストラリアの人々のうち98%は、すでにさまざまな方法で文化芸術に関わっています^{【原注7】}。しかし、私たちの調査研究によって、オーストラリアの人々の多くは「文化芸術」について狭く解釈しており、文化芸術はエリート主義的なものだという意識が高まっていることが明らかになりました。

文化芸術や創造性を生み出し、共有し、体験するために次々に現れる新しい方法と、テクノロジーや社会の変化によって、創造的な表現はこれまで以上に豊富で身近なものになっています。文化芸術と創造性は、私たちが何者であるかという基本的な性質に関わるものです。

あらゆる人が、自分自身の創造的な表現を通して、あるいは他者の創造的な作品を体験することによって、文化芸術の体験に価値を見出しています。

文化芸術体験の感情的、精神的、社会的な利益は数知れず、よく報告されています。それには相互理解の深まり、批判的思考力の強化、精神的なウェルビーイング、ストレスレベルの低下から、社会的なつながりの促進、自己とコミュニティのアイデンティティの表現、健康的な幼児期の発達、健康的な老いなどの公共的な利益まで、さまざまなものがあります。

事業活動

カウンスルは、助成プログラム、団体への複数年にわたる支援、全国地域ツアープログラムなどの政府の取組、戦略的投資を通じて、一般の人々の文化芸術や創造性への関わりに投資しています。2018-19年度には、オーストラリアのアーティストや団体への投資により、全国で1,900万人以上が文化芸術と創造性を体験しました。これには個別の芸術作品から全国ツアーまで、また主要な地域・国内・国際的なフェスティバルへの支援も含まれています。

私たちは資金と専門性を生かして、共同投資と戦略的提携を行い、オーディエンスにオーストラリアの文化芸術を体験する機会を提供します。私たちの「全国文化芸術参加調査 (National Arts Participation Survey)」や「選挙区別文化芸術プロフィール調査 (Electorate Profiles)」などの調査研究を通して、オーストラリアの人々の日常生活における文化芸術との関係の変化を総合的に把握することができます。

【写真キャプション】

「ビビッド・シドニー」でオーストラリア・カウンスルが主催した、アート、テクノロジー、現在と未来の間にある空間についての会話「間の空間 (The Space In Between)」に集まった人々

p.17

戦略

文化芸術体験への関わりを支援

1. 文化芸術団体が、オーディエンスを拡げ、オーディエンスとつながり、価値ある体験を提供できるように支援し、インセンティブを与える。
2. 政府の取組や枠組を通して地方における創造的な作品の発表を支援するため、目標を絞った助成を行う^{【原注8】}。
3. コミュニティの創造的な活動の焦点となるような、多様で質の高い創造活動に投資する。

文化芸術体験へのアクセスを拡大

1. 新しいメディアやテクノロジーの探求に投資し、新たなオーディエンスを取り込む。
2. 定期的に助成を受けている団体の新規オーディエンス開拓力を育てる。
3. オーディエンスのアクセスとオーディエンス育成に関して、オーストラリアの人々の文化芸術活動への関与^{【原注9】}についてのエビデンスベース構築を続ける。

オーストラリアの文化芸術と創造性のデジタル化を支援

1. 文化芸術の創造、普及、体験における新たな展開についての知識とエビデンスベースを構築する^{【原注10】}。
2. デジタル形式でアクセスできる作品の制作を可能にし、支援する。
3. 仮想現実、拡張現実、複合現実などの新しいテクノロジーを使うジャンルのコラボレーションや共同開発の機会を探る。
4. 映画、ラジオ、放送機関と文化芸術セクターの関係を強化する。

日常生活における文化芸術体験の推進

1. 思いがけない場所、イベント、コミュニティでの創造的体験を促進し、支援する。
2. 人々が集い、創造的体験を楽しめる公共的な場を作る活動を支援する^{【原注11】}。
3. 従来とは異なるオーディエンスおよび会場に関するエビデンスベースとリソースを構築する。

重要業績評価指標 (KPI)

私たちは以下によってこの戦略目標を評価します。

- オーストラリアにおける、オーストラリア・カウンスルの文化芸術活動への年間1,500万人以上の参加を支援*
- 年間4,500件以上のオーストラリアの芸術作品の新作発表 (上演、展示、出版、記録) への支援*
- 「全国文化芸術参加調査 (National Arts Participation Survey)」に記されているような文化芸術の認識 (「文化芸術は私には関係ない」) の、5年間の変化

(*はポートフォリオ予算書の指標を示す)

【原注6】 世界人権宣言の第27条には、「全て人は、自由に社会の文化生活に参加し、芸術を鑑賞、および科学の進歩とその恩恵にあずかる権利を有する」と規定されています。したがって、文化的権利は、2001年のユネスコ文化の多様性に関する宣言の第5条で認められているように、人権とは切り離せないものであり、文化にアクセスし、文化に参加し、文化を楽しむ権利と定義することができます。これには、個人と共同体がヘリテージ (Cultural Heritage) と文化表現を知り、理解し、訪問し、利用し、維持し、交換し、発展させ、他者のヘリテージと文化表現から利益を得る権利が含まれます。表現の自由、情報を得る権利、教育を受ける権利などの他の人権は、文化的権利の実現の鍵を握っています。また、人種差別、子ども、女性差別、障害者、先住民の権利など、特定のグループのための文化的権利もさまざまな国際条約に明記されています。

- 【原注7】 オーストラリア・カウンシル2017年『オーストラリアの人々をつなぐ：全国文化芸術参加調査結果（Connecting Australians : Results of the National Arts Participation Survey）』。98%の中には、録音された音楽を聴く人、創造的な文章を読む人、直接芸術に参加する人、オンラインで関わる人、創造的に参加する人が含まれます。
- 【原注8】 全国各地のツアープログラム、ビジュアル・アーツ・アンド・クラフツ・ストラテジー、メジャー・パフォーマンス・アーツ・フレームワークなど。
- 【原注9】 <https://www.australiacouncil.gov.au/news/media-centre/media-releases/connecting-australians-the-national-arts-participation-survey/> を参照。
- 【原注10】 <https://www.australiacouncil.gov.au/research/arts-futures/> を参照。
- 【原注11】 例えばワークショップやマスタークラス、視覚芸術の展示会、演劇、ダンス、音楽のパフォーマンス、文学イベントなど、フェスティバル、新興・実験芸術の体験、コミュニティ・アートと文化振興のプロセスなど。

p.18

文化芸術は私たち自身を映し出す

私たちは、創造的な表現、クリエイティブな分野で働く人々、リーダー、オーディエンスにおける機会とアクセスの公平性を支援します。

オーストラリアは、芸術的、文化的、創造的なリソースに恵まれています。この豊かさの源は、オーストラリアの人々が織りなすタペストリーです。オーストラリアの人々の3人に1人が海外で生まれ、オーストラリアの家庭では300以上の言語が話され、ほぼ5人に1人が障害を抱えて生活しています【原注12】。しかし、オーストラリアの多様性はまだ文化芸術に十分に反映されていません。多様な視点から生まれた作品に対するオーディエンスの関心が高まり、多様な作品をプログラムする意欲が高まっているにもかかわらず、障害を持つアーティストや英語を母国語としないアーティストは、人口と比べて依然として少ないままです。私たちの文化芸術が人々と文化の幅広さを真に反映し、その恩恵を受けられるようにするために、リーダーシップや文化芸術活動を含め、文化芸術における平等を引き続き積極的に進めていくことが必要です。

これが完全に実現されれば、現代の社会的課題に立ち向かうために必要な実験、芸術性、接続性、協働が促進される可能性があります。これらの課題には、どのように共に生きるか、多様性をどのように表現するか、どのように生き、自分自身を愛するか、どのように協働したいか、どのような未来を創造したいか、などが含まれます。それは、才能、リーダー、協力者、パートナー、投資家、オーディエンス、市場の富を拡大する機会をもたらします。

多角的な視点は、実験、創造性、芸術性、そしてつながりを促進します。創造的表現に反映された自分自身の経験を見たり、感じたり、聞いたりすることは本質的に人を力づけます。同様に、その経験が私たちの文化的風景に反映され、評価されるのを見たり、聞いたり、感じたりすることも、人を力づけます。それは共感を生み、私たち全員がもっと他の人の立場に立って考えられるようにしてくれます。

文化芸術は、人生の状況や経験に関係なく、私たち全員を結びつける独自の力を持っています。

私たちの物語を通して、私たちは自分の世界をあらゆる複雑さをもって表現し、他の人々の生活や世界を洞察する機会を得ることができます。オーストラリアの人々は文化芸術が、異なる視点を得、自分のアイデンティティを表現し、この国の人々や文化を理解することに役立つと信じています【原注13】。私たちは、創造性を通して、私たち全てをつなぐこの潜在能力を解き放つために、行うべき仕事があると認識しています。

事業活動

意思決定において包摂性が重要であることは、ピア審査パネルに反映されています。「私たちのことは私たちが決める」という原則はステークホルダーとの関わりに、また「行動により先導する」という原則は、行動計画のコミットメントや公的な報告による説明責任の遂行に反映されています。

私たちは、多様なアーティスト、クリエイター、団体に投資し、彼らの物語を伝え、幅広いオーディエンスにその作品を紹介しています。

オーストラリア・カウンシルの平等への取組は私たちの活動のあらゆる側面に組み込まれ、「カルチュラル・エンゲージメント・フレームワーク（Cultural Engagement Framework）」に則っています。この枠組の下で現在優先されている分野は、先住民の人々、子どもと若者、文化的多様性、高齢者、障害者、オーストラリアの地方と遠隔地、そしてこれらのグループ間の相互作用を認識することです。

【写真キャプション】
ウィンドミル・シアター・コプロダクション「ビーブ(Beep)」
クレジット：ルーク・カーデュー

p.19

	戦略
コミュニティをつなぐ活動を支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的なつながりを拡大・強化する事業や活動を継続的に支援する。 2. 創造的で文化的な産業における多様性の向上が、コミュニティの結束を強めることを提唱し、強調する。 3. 社会的結束を強めるアーティストや文化芸術活動の功績を称揚する。
現代のオーストラリアを反映した創造性のある作品を支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化的・言語的に多様な作品を継続的に支援する。 2. 障害を持つアーティストやアートワーカーを支援し、文化芸術活動、ネットワーク、スキルの向上を図る【原注14】。 3. カウンシルのプログラムやリソースへのアクセスに際しての障壁に対処し続ける。
創造的人材の多様性の向上を支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 能力開発プログラムにおける多様な指導者の取り込みを増やす【原注15】。 2. オーストラリアの文化芸術における多様性の本質的・公共的価値を増進する。 3. 多様性の指標と報告について、他分野の機関などと協力する。

オーストラリア・カウンシルの全ての活動において多様性を促進	<ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちのビジョン、優先課題、プロセスが多様性を認識し、反映させていることを確認する。 2. 職場での多様な文化を称揚する。 3. カウンシルの多様性へのコミットメントを公に示す。
-------------------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)

私たちは以下によってこの戦略目標を評価します。

- 年間で総額1,300万豪ドルの助成金を提供し、文化的多様性に富んだ200以上の申請を支援*。
- 複数年にわたって助成を受けている団体の多様性データの収集と報告【原注16】。
- オーストラリア・カウンシルの職員とリーダーシップの多様性に関する毎年のモニタリングと報告。
- オーディエンス、創造的な作品および作り手の多様性に関する調査研究の実施と公表。
- 助成や戦略的プログラムの支援先の多様性を含み、オーストラリア・カウンシルの多様性に関するパフォーマンスのモニタリングと公表。

(*はポートフォリオ予算書の指標を示す)

【原注12】 オーストラリア統計局2017年『人口と住宅の国勢調査：オーストラリアを映す 2016年国勢調査からの記事 (Census of Population and Housing: Reflecting Australia, Stories from the Census 2016)』(cat.no.2071.0)。

【原注13】 オーストラリア・カウンシル2017『オーストラリアの人々をつなぐ：全国文化芸術参加調査結果 (Connecting Australians: Results of the National Arts Participation Survey)』。

【原注14】 <https://www.australiacouncil.gov.au/funding/playing-australia-regional-performing-arts-touring-fund-faqs/arts-and-disability-mentoring-initiative-2019-21/> を参照。

【原注15】 <https://www.australiacouncil.gov.au/programs-and-resources/leadership-program/> を参照。

【原注16】 データ収集と報告の調和を図るため、ここには州や特別地域との協力も含まれています。

p.20

先住民の芸術と文化を大切に作る

私たちは、国全体の繁栄のために、先住民の人々の民族自決、文化的自律性、リーダーシップの重要性を認識し、先住民の芸術と文化に長期的に深く関わり、支援していきます。

私たちの先住民芸術は、世界で最も古くから続いている生きた文化を多様に表現しています。これらは、先住民の人々にとって大きな誇りの源であり、文化的な強さ、レジリエンス（強靱性・回復力）、革新性、卓越した芸術性を反映しています。

オーストラリアの人々はこれまで以上に、先住民の芸術の美しさと強さ、力に接し、一つの国としての自分たちを理解しようとしています。先住民の文化を理解し、尊重することは、オーストラリアの社会のウェルビーイングに不可欠であり、先住者と非先住者の双方に利益をもたらします。先住民の知識は、伝統的な西洋の思考様式に貴重な洞察と視点を提供するものであるという認識が高まっています。

国外では、先住民の芸術と文化は、すでにオーストラリア独自の創造性として知られています。オーストラリアの先住民アーティストは国際的に高い評価を受けており、世界中のオーディエンスから求められています。同様に、オーストラリアを訪れる人々も、オーストラリアのアイデンティティを表現するものとして、何よりもまず先住民の文化を体験したいと考えています。

何十年にもわたる投資の中で、私たちはあらゆる分野の先住民アーティストや団体の興隆を目の当たりにしてきました。新しい団体が誕生し、既存の団体が力強く成長しています。先住民の指導者たちが団体の舵を取るようになり、その優れた活動が認められて、褒賞や批評家の称賛を受けています。

事業活動

カウンシルは、公募による助成や団体への助成、的を絞った戦略的投資などの幅広い活動を通して、先住民の芸術と文化の表現を支援しています。私たちの戦略的な投資には、アーティストの制作から普及までのコンセプト開発を支援する「シグネチャー・ワークス (Signature Works)」プログラムや、コミュニティ主導の文化の見習いやレジデンスを通して、世代を超えた芸術と文化の継承を支援する「チョーズン (Chosen)」プログラムなどがあります。

先住民の芸術への投資は、先住民による意思決定に支えられています。私たちの先住民文化芸術戦略パネルは、長くその分野を牽引してきた人々で構成され、専門的な助言を提供しています。また、私たちの助成プログラムによる先住民の人々、グループ、団体への助成は全て、先住民のピア審査員によって審査されています。

カウンシルは先住民の文化セクターに暫定事務局の支援を提供し、全国先住民芸術文化機関の設立に向けて、2018年10月から2019年の全国集会までの全国的なコンサルテーション・プロセスなどを実施しています【原注17】。

【写真キャプション】

トラックス・ダンス・カンパニー 2019年

「ミルピリ・ジュアントゥ (Milpirri Jurntu)」の若いダンサーたち
クレジット：ピーター・イブ

p.21

戦略

先住民の芸術と文化の強化と定着

1. 先住民の芸術への投資を継続・拡大し、先住民の芸術的・文化的リーダーシップを称揚する。
2. 先住民の文化的コミュニティに関わる州や国の文化芸術団体との関係を新たに築くとともに、既存の関係を強化する。
3. 先住民の芸術と文化のセクターと産業を継続的に支援し、クリエイティブ産業における先住民の芸術と文化への参加を保護、促進し、増加させる。
4. 先住民の芸術と文化に関わる事項を広く伝え、擁護する。

先住民の芸術と文化の体験を促進

1. 先住民の芸術と文化の実践者がグローバルなネットワークを構築する機会を引き続き支援する。
2. 先住民のアーティスト、グループ、文化芸術団体が国内外で作品を制作、発表するための支援を続ける。
3. 先住民の文化芸術体験へのアクセスと参加を増進する。
4. 先住民の芸術と文化のセクターのオーディエンスと市場の拡大を支援するため、エビデンススペースの構築を続ける。

先住民の若者の芸術的・文化的表現を支援

1. 文化的知識の世代間の伝達を促進するために、文化芸術面のメンタリングの支援を続ける。
2. 若手の先住民のアーティストや文化芸術実践者が主要な作品群を制作するための支援を継続する【原注18】。
3. 先住民の若者の文化芸術への関与と世代間の文化継承を支援する取組において、ポートフォリオを横断した取組を通じて投資の拡大を提唱する【原注19】。
4. 先住民の若者が文化芸術に触れる機会を増やす。

先住民の芸術と文化の実践者の文化的権利の擁護

1. 文化芸術、創造性、文化的な事項について専門家のアドバイスを提供するために、先住民の文化芸術を牽引してきた人々を継続的に関与させる【原注20】。
2. 先住民のアーティストや文化的実践者が私たちの意思決定に関与することを保証し続ける。
3. 先住民の人々、グループ、団体による芸術的・創造的な作品の創作、制作、普及の支援を続け、創造的・文化的産業への参加を増やす。
4. 先住民の文化的・知的財産へのさらなる理解に向けて、その重要性を提唱し続ける。

重要業績評価指標 (KPI)

私たちは以下によってこの戦略目標を評価します。

- 先住民のアーティストや団体によって1年間に制作される新作への支援状況。
- オーストラリア・カウンシルが国内外で1年間に支援している先住民のアーティストの作品への参加・鑑賞への支援状況。
- 先住民のアーティスト、文化芸術団体、プロジェクトの1年間の海外における発表に対する支援状況。
- オーストラリア・カウンシルの「リコンシリエーション・アクション・プラン (Reconciliation Action Plan)」(および関連指標) の評価と2021 - 24年度の計画の策定・実施状況。

(※はポートフォリオ予算書の指標を示す)

【原注17】 <https://niaca.com.au/> を参照。

【原注18】 <https://www.australiacouncil.gov.au/funding/funding-index/young-and-emerging-dreaming-award/> を参照。

【原注19】 この必要性を明示する調査結果は下記を参照。
<https://australiacouncil.gov.au/research/living-culture/>
 また前回の提唱は下記を参照。
<https://www.australiacouncil.gov.au/research/closing-the-gap-submission/>

【原注20】 <https://www.australiacouncil.gov.au/about/our-strategy-panels/> を参照。

文化芸術と創造性が力強く成長する

私たちは活気ある文化芸術セクターのために最良の環境を支えています。

新しいテクノロジーが産業、経済、そして私たちの世界や他者との関わり方を変え、また混乱を引き起こす中で、創造性は人間としての私たちを理解するために、そして私たちのウェルビーイング、将来の成長と繁栄のために、これまで以上に重要なものとなっています。文化芸術活動は多種多様であり、常に進化しており、新しい形が次々に生まれています。

私たちの調査研究は、オーストラリアの人々が文化芸術に置く個人的価値と、文化芸術の社会的および文化的影響力の大きさが増していることを示しています。クリエイティブ産業のダイナミックな成長と大規模な経済的貢献は、公的助成を受けた文化芸術における層の厚い人材の確保と表裏一体の関係にあります。

しかし、アーティストが創作活動で生計を立てることはますます難しくなっています。急速な社会的・技術的変化は、伝統的なビジネス構造に圧力をかけ、文化芸術の創作、体験、普及に影響を与えています。支援のない環境では、アーティストが精神衛生上の問題を抱えるリスクが高まり、多くのアーティストが経済的不安定に苦しんでいます。

アーティストの生活に影響を与える、複雑で急速に変化する力の中で、私たちは混乱ゆえの課題と機会を特定し、理解し、活用していかなければなりません。私たちは創造的な仕事の根本的な価値を認識し、保護し、支持する必要があります。文化・創造産業の巨大な可能性を実現するために、私たちは、適切な投資、支援構造、保護、報酬を通じて、どのように創造の担い手を育成していくかという問題に取り組みなければなりません。

事業活動

私たちは、助成プログラムや、フェロースhipと褒賞、フォー・イヤー・ファンディングを通じて複数年の助成金を受けた団体やメジャー・パフォーミング・アーツ団体、また政府の取組であるビジュアル・アーツ・アンド・クラフツ・ストラテジーや全国的な地域ツアー・プログラムなどを通して、オーストラリアのアーティストと文化芸術団体に、キャリアのさまざまな段階における投資を行っています。

オーストラリア・カウンシルは、活気ある文化芸術セクターを育成し、芸術的表現の自由を促進するための指導的役割を担っています。

私たちは能力開発プログラムを通じて、人材の育成、ネットワークの拡大、オーストラリアの芸術やアーティストのための機会を取り持ち、オーストラリアの文化芸術コミュニティの長期的なレジリエンスに貢献しています。私たちは戦略的提携を通じて新たな機会を創出し、共同投資を通して文化芸

術に利用可能な資金を増やしていきます。私たちの国際芸術戦略は、北東アジア、東南アジア、ヨーロッパ、北米の重点市場において、有意義で効果的かつ国際的な活動の機会を最大化します。オーストラリアのアーティストは、ジャンルを超えて、国際的な認知度や需要の高まりと成功を経験しており、それが重要な収入源にもなっています。私たちの戦略的な国際投資は助成プログラムと並行して行われ、2018-19年度にはオーストラリアのアーティストや団体の国際的なオーディエンスが350万人に到達しました。

p.23

【写真キャプション】

アリン・バスティン公演
インサイト・アート
「アンブローケン・ランド (UNBROKEN LAND)」2016年
クレジット：オリバー・イクリプス
(レッド・ホット・アート セントラル・オーストラリア)

	戦略
実現可能なクリエイティブ・キャリアとビジネスモデルを支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支援を受けたプロジェクトや団体が持続可能なアプローチを取れるようにする。 2. コンテンツ、フォーマット、配信、ビジネスモデルの技術的な実験に投資する。 3. 新しい技術がもたらす機会についての理解を深め、共有する。 4. オーストラリアのアーティスト、アートワーカー、団体が国際的に作品を発表するため、移動の機会を提供する。
新しい作品の実現に向けたリスクテイクと実験の支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創造、実験、表現の自由を支援する。 2. 多岐にわたる新たな文化芸術活動の発展とアクセスを擁護する。 3. 複数年の助成を受ける団体による、セクター、コミュニティ・グループ、産業界を横断したコラボレーションを支援する。
文化・創造産業を強化するためのパートナーシップを構築	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域、州、国のレベルでポートフォリオを横断したつながりを築く。 2. 公的資金を受ける文化芸術と商業セクターをつなぐ。 3. オーストラリアと海外のインフルエンサーやリーダーとのグローバルなつながりを促進する。
文化芸術に携わる人々のウェルビーイングと安全な環境を促進	<ol style="list-style-type: none"> 1. アーティストの実現可能なキャリアを提唱し、擁護する。 2. クリエイティブ・セクターにおいて安全な職場環境を推進する。 3. アーティストやクリエイティブ・セクターで働く人々のウェルビーイングを提唱し、擁護する。

重要業績評価指標 (KPI)

私たちは以下によってこの戦略目標を評価します。

- 年間5,700点以上のオーストラリアの新しい芸術作品への支援*。
- オーストラリアの新しい芸術作品の創造プロジェクトへの年間750万豪ドル以上の支援*。
- オーストラリア・カウンシルが支援する活動における、年間300万人以上の国際的なオーディエンス獲得への支援。

(*はポートフォリオ予算書の指標を示す)

p.24

文化芸術と創造性を尊重する

私たちは、文化芸術と創造性への公共投資には価値があるという認識を高めていきます。

オーストラリアの文化芸術と創造性への公共投資は、重要な本質的価値を生み出すだけでなく、文化・創造産業の枠を超えた評判と社会的・経済的価値をもたらしています。カウンシルは、文化芸術と創造性に影響を与える政策を広め、文化芸術の投資価値に対する認識を高め、文化芸術と創造性が人々の生活を豊かにする道筋を示す上で、重要な役割を担っています。私たちはエビデンス、分析、助言を通じて、文化芸術の公共的価値、創造性への公共投資の価値を、国中の多くの受益者に広め、擁護していきます。

オーストラリアの文化芸術と創造性は、私たちの最も強力な財産の一つであり、私たちの健康、ウェルビーイング、教育、イノベーション、アイデンティティ、進歩、経済、国際的な評価にとって重要な役割を果たしています。文化芸術と創造性への投資は、新しいアイデア、技術、最先端のイノベーションを育み、人材の供給と雇用の成長を促進し、民間投資と対内投資を活用して大きな経済的利益をもたらす可能性を秘めています。文化芸術と創造性は大きな価値を生み出し、政府の多くのポートフォリオを横断してその潜在能力を引き出すものです。そして、社会的、文化的、経済的な還元をもたらす、十分に支援されたクリエイティブ・セクターを確立するためには、文化芸術の公共的価値へのより深い認識と理解が必要です。私たちの調査研究とアドボカシーは、成長するクリエイティブ経済への投資を増やし、創造性へのポートフォリオ横断的な投資の拡大を支援するためのエビデンスベースの構築に焦点を当てています。

オーストラリアの市民生活や政策立案における文化芸術の価値と、それらの間の幅広い関連性を評価することは、創造性で結ばれた国家にとって非常に重要です。創造性はオーストラリアの国の健康と繁栄に不可欠であり、芸術の投資価値に対する産業界、一般市民、政府の認識を向上させるというカウンシルの役割は、ますます急を要するものとなっています。

事業活動

カウンシルは、堅牢かつ妥当性のある調査研究と分析を活用し、公開討論やフォーラム、政府への助言や報告、議会公聴会への出席などを通じて、重要な問題についての提言を行っています。最近の提言には、「クロージング・ザ・ギャップ・リフレッシュ (Closing the Gap Refresh)」、「フェイク・アート」調査、オーストラリア音楽調査、外務貿易省のソフトパワー・レビュー (Department of Foreign Affairs and Trade's Soft Power review)、オーストラリア貿易省の観光戦略、オーストラリアのデジタル戦略、仕事と労働者の未来に関する提言などがあります。

私たちの調査研究と分析は、文化芸術を広めて擁護するため

の強力なエビデンスベースを提供しています。

オーストラリア・カウンシルは、一貫性のある明確で熟慮に基づく発言を通じて、アドボカシー・メッセージを広めています。私たちは公的機関やセクターと戦略的に連携し、セクターに関する問題や議論に取り組んでいます。

私たちは他のオーストラリア政府機関と、全ての管轄区域において強固な関係を維持し、文化芸術と創造性の価値の増進を図っています。

【写真キャプション】

コンタクト・ゾーン・ワークショップ4
(Contact Zone workshop four)
クレジット：ナザール・ジャブール

p.25	戦略
文化芸術と創造性の公共的価値を擁護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調査研究とエビデンスをまとめて、文化芸術と創造性の芸術的、文化的、社会的、経済的影響力を示す説得力のある事例を作る。 2. アドボカシー・フォーラムを招集し、それに参加し、調査研究や洞察、ベストプラクティスを探り、共有する。 3. 国内および国際的な戦略的パートナーと協力して公的な価値のあるアジェンダを推進し、文化芸術の広範囲におよぶインパクトを明らかにする。 4. オーストラリアの文化芸術と創造性への投資を広めるために、大使やアラムナイ (alumni) の人的ネットワークを構築する。
政府の政策開発のために情報提供し、文化芸術に関する助言を行う	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化芸術に関連する事項について、政府に助言を与える。 2. 重要な問題について、堅牢かつ妥当性のある調査研究と分析を活用する。 3. 政府のポートフォリオ目標達成にとっての文化芸術と創造性の価値に対する理解を深め、公共投資を増やす。
文化芸術と創造性に関する事項についての公共的な議論を牽引	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化芸術と創造性の公共的価値を提唱する一連の公共的な議論を牽引する。 2. 文化芸術セクターとクリエイティブ・セクターの課題について、メディアなどの公共チャネルを通じた議論を牽引する。 3. 文化芸術セクターが自らを主張できるように支援する。
文化芸術・クリエイティブ産業への理解を深めるためのエビデンスの構築	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化芸術に対する人々の態度と参加の傾向をモニターし、報告する。 2. クリエイティブな分野で働く人々と、クリエイティブ経済へのその影響に関するエビデンスベースの構築に貢献する。 3. 強力な調査研究の集積を構築して、新しい技術革新とテクノロジーが未来の文化芸術の創造と体験に与える影響を探る。 4. 文化芸術と創造性が社会的、文化的、経済的発展の問題に貢献する可能性について、エビデンスに基づいて理解してもらう。

重要業績評価指標 (KPI)

私たちは以下によってこの戦略目標を評価します。

- オーストラリア・カウンシルが価値を提供するためのステークホルダーとの協力についての、ステークホルダーの認識の分析 ^{【原注21】}。
- カウンシルが招集・主催するフォーラム・公共イベントの開催状況。
- 影響力が大きく妥当性の高い調査研究プロジェクトの実行状況。

【原注21】 ステークホルダー調査の実施は毎年ではありません。

p.26-27

パフォーマンスの評価

以下の表は、2013年オーストラリア・カウンシル法、第45(1)(d)項に基づき、私たちの「コーポレート・プラン2018－2022」で述べられている2018－2019年度のカウンシルのパフォーマンスを評価しています ^{【原注22】}。カウンシルのパフォーマンスの完全な評価は、オーストラリア・カウンシルの2018－19年度アニュアル・レポートに掲載されていません。

【表】 (次ページ上段参照)

【写真キャプション】

レッド・ルーム・ポエトリー (Red Room Poetry) の公開プログラムは、2018年の推定オーディエンス数が380万人に達した。

【原注22】 オーストラリア・カウンシルの2018-2022年度アニュアル・レポートを参照。 <https://www.australiacouncil.gov.au/workspace/uploads/files/australia-council-corporate-pl-5b90cae755631.pdf> ^{【訳注4】}

p.28

財務予測

2019年4月のポートフォリオ予算書で報告されている、2019年6月30日に終了した期間の包括的な損益計算書は以下の通りです (サービスの純費用を示しています)。

【表】 (次ページ下段参照)

p.29

【写真キャプション】

ソフト・センター・フェスティバル 2018年
クレジット：チャール・アンフィールド

年度	パフォーマンス基準	目標	実際	目標に対する割合
2018-19	関与し、教育し、鼓舞する —さまざまな方法でアクセスできる革新的な展示やプログラムを通じて、国内外の訪問者との関わりを増やす。	オーストラリア・カウンシルが支援する文化芸術活動に1,300万人が参加	オーストラリア・カウンシルが支援する文化芸術活動に2,260万人が参加	174%
		文化的に多様な150件の申請に総額1,000万豪ドルを助成	文化的に多様な364件の申請に総額1,790万豪ドルを助成	243% 179%
	主導と協働 —文化芸術セクターのリーダーであり続け、国内外の主要なステークホルダーや類似の団体・機関とのパートナーシップと協働を通じて、長期的な関係を育む。	5,700点のオーストラリアの新作を支援	9,568点のオーストラリアの新作を支援	168%
	オーストラリアの新作制作プロジェクト支援として750万豪ドルを提供	オーストラリアの新作制作プロジェクト支援として970万豪ドルを提供	129%	
	4,500点のオーストラリアの新作を発表（上演、展示、出版、記録）	7,632点のオーストラリアの新作を発表（上演、展示、出版、記録）	170%	
	他国との連携を強化する30の取組	他国との連携を強化する42の取組	140%	
	オーストラリア・カウンシルが支援した文化芸術活動を50カ国で実施	オーストラリア・カウンシルが支援した文化芸術活動を55カ国で実施	110%	
2019-20	関与し、教育し、鼓舞する —さまざまな方法でアクセスできる革新的な展示やプログラムを通じて、国内外の訪問者との関わりを増やす。	オーストラリア・カウンシルが支援する文化芸術活動に1,500万人が参加		
		文化的に多様な200件の申請に、総額1,300万豪ドルを助成		
	主導と協働 —文化芸術セクターのリーダーであり続け、国内外の主要なステークホルダーや類似の団体・機関とのパートナーシップと協働を通じて、長期的な関係を育む。	オーストラリア・カウンシルが支援する文化芸術活動に1,500万人が参加		
	文化的に多様な200件の申請に総額1,300万豪ドルを助成			
	5,700点のオーストラリアの新作を支援			
	オーストラリアの新作制作プロジェクト支援として750万豪ドルを提供			
	4,500点のオーストラリアの新作を発表（上演、展示、出版、記録）			
他国との連携を強化する30の取組				
オーストラリア・カウンシルが支援した文化芸術活動を50カ国で実施				
2020-21以降	2019-20と同様	2019-20と同様		

	2018-19 推定実績 (1,000豪ドル)	2019-20 予算 (1,000豪ドル)	2020-21 将来予測 (1,000豪ドル)	2021-22 将来予測 (1,000豪ドル)	2022-23 将来予測 (1,000豪ドル)
支出					
人件費・福利厚生費	13,067	13,565	13,822	14,085	14,338
物品費・外注費	12,900	12,017	11,567	11,426	11,738
助成金	185,394	186,994	191,009	193,519	197,282
減価償却費	979	1,426	1,415	1,415	993
総支出額	212,340	214,002	217,813	220,445	224,351
控除					
自己自家収入					
自己収益					
利息	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
賃料収入	748	180	-	-	-
その他	2,106	400	1,000	400	1,000
自己収入合計	4,154	1,880	2,300	1,700	2,300
自己所得合計	4,154	1,880	2,300	1,700	2,300
役務提供の純原価	(208,186)	(212,122)	(215,513)	(218,745)	(222,051)
政府からの収入	208,186	212,122	215,513	218,745	222,051
連邦政府に起因する 余剰/不足額	-	-	-	-	-
非金融資産の取得					
部門リソースから 内部資金調達	2,639	2,586	100	100	500
平均人員数	108	108	108	108	108

(単位：人)

p.30

ケイパビリティ

戦略目標を達成するためのカOUNシルのケイパビリティは、人材と文化、技術や通信を含む継続的な持続可能性と効率性に依拠しています。私たちのパフォーマンス管理の枠組は、戦略および団体の優先課題と一致しています。

人材と文化

私たちの文化は私たちの働き方を支えています。2018年、カOUNシルは文化の見直しを行ってカルチャー・ステートメント「なぜそれが重要なのか (Why it Matters)」を作成し、全職員が揃って組織文化と期待される行動を明確に認識し、より深いエンゲージメントとより効果的な組織パフォーマンスを実現できるようにしました。

「なぜそれが重要なのか (Why it Matters)」は、私たち全員が目指して取り組んでいることの結果を確認し、一致団結して状況を改善していくためのロードマップを提供します。

これは、私たちの主張、優先順位、価値観を定義し、私たちの行動、決定、信念を示すものです。

なぜそれが重要なのか (Why it Matters)

私たちの主張：

人々の生活を豊かにする

私たちの約束：

明快なコミュニケーション

私たちの文化の柱：

- 価値と感動を通じて成長する「人」
- 社会的、文化的、公共的な「関連性」
- 包括的で、つながりのある「コミュニティ」
- インパクト、活力、持続可能性を支える「私たちの文化芸術」

私たちの基盤：

- カルチュラル・エンゲージメント・フレームワーク
- 表現の自由
- 配慮と関与
- 先住民への焦点

私たちの価値観：

- 擁護し、力を与える「リーダーシップ」
- 違いを受け入れる「多様性」
- 共通の目的を持って協力する「コラボレーション」
- 倫理的で説明責任を果たす「誠実さ」
- 柔軟性、順応性、対応力のある「レジリエンス」
- 専門的で、つながりのある「サービス」

p.31

【写真キャプション】

スー・ヒーリー「オン・ビュー：ジャパン (ON VIEW : Japan)」

(浅井信好)

撮影：ピバ・サマヤ

私たちはオーストラリアの文化芸術と創造性をより良いものにするため、職員を力づけ、育成します。私たちの職員は「なぜそれが重要なのか (Why it Matters)」の4本の柱の1本として、関連性、コミュニティ、文化芸術と並ぶものです。職員はカOUNシルの仕事とクリエイティブ・セクターの仕事に強い愛着と誇りを持っています。私たちは共有された知識を最適化することに力を入れ、また、一つの団体として協力しながらも、異なる視点を大切にしています。

私たちの労働力と組織の優先課題との継続的な連携を確かなものとするために、カOUNシルは、職員がそれぞれの責任の範囲分野で成功を収めるためのリソースの提供に尽力しています。私たちは包括的に職員に投資し、職員の強み、潜在能力、適応力を養うスキル開発や、ウェルビーイングと職場の安全体制の支援を行っています。

私たちの成功は、多様性、エンパワーメント、支援、文化の上に築かれており、これらの基盤は常に私たちの一部となっています。先住民のリーダーシップは日常業務に欠かせないものであり、「カルチュラル・エンゲージメント・フレームワーク」は、私たちの価値観、目標、システム、全ての人々のための行動の中心にある多様性へのコミットメントを支えています。

業務の効率化と効果

カOUNシルは、プログラムや活動全体の有効性を維持しつつ、業務の効率化を追求しています。私たちはステークホルダーの定期的な調査を実施し、国際機関との連携を模索しながら、有意義な比較を行い、ベストプラクティスを広めていきます。

2017年には業務システムに関する包括的なニーズ分析を実施し、カOUNシルの組織全体の業務システム変革プログラムを客観的に調査することができました。このプログラムでは、カOUNシルの業務システムの最新の技術への置き換えと、クラウドベースのインフラストラクチャーおよびアプリケーションへの移行を行いました。このプログラムは新しくより良い機能、生産性の向上、セキュリティの向上、ITのレジリエンスをもたらします。外部ステークホルダーとの中長期的な関わりは、貴重な情報を、より双方向かつアクセスしやすい形で共有することで促進されます。このプログラムは実施の最終段階にあり、2019年末までに完了する予定です。

p.32

リスク管理と監督

私たちは、戦略的で一貫性があり、構造的かつ組織的なリスク管理のアプローチによって、十分な情報に基づく意思決定プロセスを促進し、利益を得る機会の実現と損失の最小化の間の適切なバランスを実現します。

「リスクマネジメントポリシー・アンド・フレームワーク (The Risk Management Policy and Framework)」は、PGPA法と「連邦リスクマネジメント・フレームワーク (Commonwealth Risk Management Framework)」に概説された、リスクを管理するための主要な原則を具体化するものです。それは組織のリスク選好度を定義し、主要なプロセスと責任を定めています。これらの文書は、毎年、監査・リスク委員会で見直され、承認されています。具体的には、このリスク管理・監督機能は、連邦に重大な影響を及ぼす可能性のある他のリスク要因に加えて、財務リスク（投資・資金調達プログラムに関連するリスクを含む）を見直し、管理し、それらに対応します。その他のリスク要因としては、カウンシルの事業計画、新政策・プログラムの開発、運営、契約・プロジェクト管理に関するものがあります。

経営陣は定期的にカウンシルのリスク・プロファイルとリスク登録簿を見直し、組織が直面している主要なリスクを特定し、リスクが長期的に許容できるレベルに管理されていることを確認するために必要な措置を講じます。リスク・プロファイルとリスク登録簿は、半年ごとに監査・リスク委員会で見直され、承認された後、全理事会に提出され、審議されます。

リスク管理機能は、さらに次のような構造とプロセス——理事会の指名・任命委員会、事業継続計画、不正管理方針および関連する行動計画などを通して実現されていますが、これらに限定されません。主要な事業の職務については、年間を通して独立した内部監査が実施され、その結果は理事会の監査・リスク委員会に報告されています。

カウンシルが直面する重大なリスクは時間の経過とともに変化し、既存のリスクが管理され、新たなリスクが発生します。需要の増加と多様化が進む環境下で、カウンシルは多数かつ多様な外部ステークホルダーの期待に応えるための継続的な課題に直面しており、リソースは限られています。内部的には、最も重要なリスクは、カウンシルの野心的なビジネスシステム変革プログラムの最終的な実行と、2019年の新施設への移転にあります。

p.33

【写真キャプション】

〈ビビッド・シドニー〉で

オーストラリア・カウンシルが主催した、

アート、テクノロジー、現在と未来の間にある空間についての会話「間の空間 (The Space In Between)」でのアロン・イルサー

【訳注1】 原注1の通り、本プランの原文では「アボリジニとトレス諸島の人々」や「ファースト・ネーション」などの表現も使われているが、訳では統一して「先住民」としている。

【訳注2】 連邦および連邦機関に、首尾一貫したガバナンスと説明責任、パフォーマンスの枠組構築、公的資金の適切な利用・管理や、国会・国民への有意義な説明などを求めるとともに、連邦企業も含めてガバナンス、パフォーマンス、説明責任において高い基準を満たすよう定めた法律。Federal Register of Legislation <https://www.legislation.gov.au/Details/C2013A00123>

【訳注3】 オール・ザ・クイーンズ・メンは多様なコミュニティと協働して社会包摂的な活動を行う芸術団体で、「カミング・バック・アウト・ボール (Coming Back Out Ball)」は孤立しがちな年配のLGBTの人々を祝福するイベントである。
<https://allthequeensmen.net/projects/coming-back-ball/#:~:text=The%20Coming%20Back%20Out%20Ball%20is%20a%20spectacular%20celebration%20of,more%20acute%20for%20LGBT%2B%20people.>

【訳注4】 2018-2022年度コーポレート・プランの誤りと思われる。

表紙

オーストラリア政府
オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ

PEER HANDBOOK FOR ASSESSMENT PANELS
UPDATED SEPTEMBER 2019

審査パネルのための ピア・ハンドブック

2019年9月更新

p.2

目次

概要	4
オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツについて	5
ピア審査員の役割と責任	6
ピア候補	6
パネルの選出	7
行動規範	8
利益相反	8
守秘義務とプライバシー	9
ピアの責任	10
カウンシルの職員の責任	10
ピア審査のプロセス	11
オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ・ オンライン・システム	11
申請資料	12
採点	12
助成のための推薦	13
会議にて	13
報告、予算および承認	14
通知とフィードバック	15
申し立て手続き	15
ピアの報酬と資格	16
出席費	16
旅費手当	16
ピアの役務契約	18
アクセシビリティ	18
移動と宿泊	19
タクシー料金	19
支払い方法	19
付属資料 1：利益相反	20
申請内容との相反	20

p.3

申請者との相反	20
付属資料 2：法に則った意思決定の枠組	21
権利と責任	21
意思決定のための公的説明責任	21
適正手続きと自然的正義(natural justice)	22
注意義務と精励義務	22
差別禁止法と方針	22
付属資料 3：団体の税務処理用請求書サンプル	24

p.4

概要

本ハンドブックは、オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ（カウンシルとも表記）の助成審査パネルのピア審査員の役割を担う人々のために、ピア審査プロセスの概要を説明したものです。

ピア審査員には、文化芸術分野に関する十分な知識や経験を持ち、助成申請に対して公正かつ十分な情報に基づいた評価を行うことが求められます。このような知識や経験は、1つ以上のジャンルにおけるアーティスト、アートワーカー、またはセクターの専門家としての活動を通して培われるものと考えられます。

ハンドブックには、ピア審査のプロセスの概説および公正で透明性のある決定のためのカウンシルの方針に関する重要な情報が記載されています。

このハンドブックに記載されている情報に関する質問は、peers@australiacouncil.gov.au までお寄せください。

ピアになりたいとお考えの方は、[オーストラリア・カウンシルのウェブサイト](http://australiacouncil.gov.au)にアクセスして、自己推薦（nominate）方法の詳細を確認してください。

p.5

オーストラリア・カウンシル・ フォー・ジ・アーツについて

オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツは、オーストラリア政府の主要な文化芸術助成および助言の機関です。私たちの目的は、オーストラリアの文化芸術と創造性を擁護し、それに投資することです。

オーストラリア・カウンシルは当初、1975年オーストラリア・カウンシル法（Australia Council Act 1975）により独立した法定機関として設立されました。

2013年7月1日に、2013年オーストラリア・カウンシル法（Australia Council Act 2013）が施行され、オーストラリア・カウンシルの役割が更新されました。オーストラリア・カウンシルは、文化芸術大臣を通じてオーストラリア議会および政府に対して説明責任を負います。

[オーストラリア・カウンシル法を表示するにはここをクリックしてください。](#)

オーストラリア・カウンシルは「コーポレート・プラン 2019-2023」において、新戦略「創造性は私たちをつなぐ（Creativity Connects Us）2020-2024」を掲げています。この戦略は、50年以上にわたる文化芸術への助成・開発・調査研究から得られたカウンシルの専門技術と知識に加え、深く厳密なエビデンスの集積およびコンサルテーション・分

析についての、文化芸術セクターと一般市民からの何千もの回答に基づくものです。

2020－2024年度の戦略的優先課題は、急速に変化するオーストラリアの文化芸術と創造性の風景に対応しています。

- 創造的な生活を送ることで得られるインスピレーション、満足感、ウェルビーイングを、あらゆる人が常に体験できるようにしたいと私たちは考えています。
- 私たちは、刺激的な文化芸術体験が、親しみやすく、アクセスしやすく、歴史性と現代性を併せ持つ私たちの文化を反映するものであってほしいと考えています。
- 私たちは、アーティストや文化芸術団体に投資し、彼らが新たな課題に対応し、自分たちの創造的な可能性を十分に発揮し、創造に関わる新しい世界で成長し続けることができるよう支援したいと考えています。
- あらゆる人が文化芸術と創造性への投資から恩恵を受けています。そして私たちは、この投資から得られる社会的、文化のおよび経済的な利益が十分に理解され認識されることを望んでいます。

オーストラリア・カウンシルの

「コーポレート・プラン 2019－2023」を表示するには、
ここをクリックしてください。

p.6

ピア審査員の役割と責任

毎年、カウンシルは全国の文化芸術団体や個人アーティストに助成を提供しています。ピア審査員は、専門知識、文化芸術に関する知識、政府からの独立性を持って、助成の意思決定を行います。ピア審査とアームズ・レングスに則った助成は、カウンシルの行動原則となっています。これにより、他の申請者との競争と予算制約の中で、公開されている審査基準に照らして最高の価値を示す提案をしたアーティストと文化芸術団体に確実に助成が提供されます。

ピア候補

カウンシルは、ピア審査に関心をもって自己推薦した全てのアーティスト、アートワーカー、セクターの専門家の詳細情報を登録しています。カウンシルの職員は、通常4年ごとに推薦を再検討し、カウンシルの助成プログラム申請を審査するためのスキルと知識を持つ「ピア候補」の名簿を作成します。ピア候補は、オーストラリア・カウンシルの理事会によって正式に承認され、ピアの氏名はカウンシルのウェブサイトで公開されます。

カウンシルは、ピア審査の機会をはるかに上回る数の自己推薦を受けます。全ての分野がバランス良く代表されていることは、最終選考プロセスでの重要な考慮事項です。最も多くの自己推薦があった文化芸術分野と地域については、実際に審査員に登用できる数よりもはるかに多くの経験豊かな人々が存在することになります。

以下のガイドラインは、ピア候補がカウンシルの助成プログラム審査において、より多様になることを保証します。

- ピアは、最大6回の審査会議に参加するか、4年間候補に留まるか、いずれかの上限に達するまで審査に参加できる
- 規定会議回数または期限に達すると、ピアは候補の任を離れ（ただし登録簿には残る）、2年後に候補に再任される可能性がある
- パネルは、必要とされる審査の種類や、ピアが代表する属性に応じて、3～11人のピアで構成される
- ピアは、必要な経験と知識がある場合、どの審査パネルにも参加の招待を受けることがある

p.7

- 特別な必要性（能力や専門家としての知識など）がある場合に、カウンシルのCEOによって1回限りピア・パネルに参加するよう追加ピアが任命される

候補に任命されたピアの氏名は、カウンシルのウェブサイト上で公開されます。

パネルの選出

カウンシルは10のピア審査パネルを設置しました。先住民文化芸術^[訳注1]、文化芸術と障害、コミュニティ・アートと文化振興、ダンス、新興・実験芸術、文学、クロスジャンル、音楽、演劇、視覚芸術です。これらのパネルのメンバーは交代制で、審査されるカテゴリーに応じてピア候補から選ばれたピアが参加します。

私たちは、以下の要素のバランスを考慮して、知識が豊富で、各分野を代表できるピアを選出します。

- 文化芸術活動——さまざまな芸術的スタイルと哲学を持ち、その分野で尊敬されるアーティストやアート・プロフェッショナル
- 職業的専門性——当該カテゴリーに関連する文化芸術分野でさまざまな専門的な役割を実践するアーティストやアート・プロフェッショナル
- 文化的多様性——オーストラリア社会の文化的な多様性を代表するアーティストやアート・プロフェッショナル
- 障害——障害のあるアーティストやアート・プロフェッショナル
- 先住民——先住民のアーティストやアート・プロフェッショナルの代表
- 地域とコミュニティ——さまざまな地域のアーティストやアート・プロフェッショナル
- ジェンダー
- 年齢——さまざまな世代とキャリア段階のアーティストやアート・プロフェッショナル

審査パネルのピアの多様性は、推薦・任命委員会とオーストラリア・カウンシル理事会に報告されます。カウンシルは、代表者がいない分野の新しいピアを募集します。

審査会議に参加した全てのピアの氏名は、採択された申請のリストとともに、カウンシルのウェブサイトで公開されます。

p.8

行動規範

ピアには、以下のことが期待されています。

- 義務と責任に対して正直かつ誠実である
- 公正かつ公平であり、偏見や先入観が客観性より優位に立つことを許さない
- 実際の影響がどのようなものであっても、誠実さと客観性とは相容れないとみなされるような利害関係を持たない

ピアは、特定のグループまたは個人の利益のためにパネル会議を利用すべきではありません。

利益相反

利益相反は、ピアが申請または申請者と持っている可能性がある関係性により、そのピアが公正かつ公平であることが妨げられる場合に発生します。このような関係は、直接的なもの（ピア自身に関係するもの）も、間接的なもの（家族や職場の同僚に関係するもの）もあり得ます。このような関係は、ピアの実際の利益（例：助成申請の金銭的な見返り）につながる可能性もあれば、認識上の利益（例：将来の仕事やピアの評判）につながる可能性もあります。

ピア審査における利益相反の管理は、カウンシルのプロセスの信頼性と透明性にとって非常に重要です。カウンシルは、特定のラウンドのピアを選定する際に、そもそもの利害の衝突を避けるために、ピアと申請者または申請との関係を特定するため意識的に努力します。しかし、例えば、ピアに近い人が申請者や申請に関係している場合など、関係性を容易に特定できない場合もあります。

私たちは、各審査会議の前に各ピアに申請者や申請との全ての関係性を告知してもらいます。カウンシルの職員は、つながりの状況や関係性の性質に応じてケースバイケースでどのような措置をとるべきかを判定します。措置には以下のようなものがあります。

- ピアは、関係性が非常に薄い、あるいは軽微な利益相反の可能性のあることを記録したメモを付けた上で、特定の申請を採点することを許可される
- ピアは、特定の申請を採点することができず、それが議論されている間は退室する
- ピアは、審査パネルに参加できない

p.9

カウンシルの職員は、ピアによって申告された関係性と、その関係性が審査プロセスでどのように管理されたかのメモを残します。このメモは、申請者がピア・パネルまたは特定のピアの公平性に疑問を呈した場合の監査証拠となります。

ピアによって申告される最も一般的な関係性と利益の例については、[付属資料 1](#)を参照してください。

守秘義務とプライバシー

ピアは、自分が検討する資料と、審査に関する協議の両方を機密として扱わなければなりません。助成申請に関する情報を開示したり、申請者や推薦者の氏名、推薦状、会議中の他のピアのコメントについて口外してはなりません。いかなる状況においても、この情報をメディアに公開したり、一般に公表することはできません。

助成を申請する際、申請者は氏名、住所、電話番号、生年月日、銀行口座の詳細、個人的な画像や動画、給与詳細、人種や民族、宗教的信条や宗派など、さまざまな個人情報や機密情報をオーストラリア・カウンシルに提供します。1988年プライバシー法 (*Privacy Act 1988*) に基づき、カウンシルは以下のことを義務付けられています。

- 個人情報を安全に保管する
- 個人情報は、収集された理由のためにのみ使用する
- 不正使用、干渉、損失、および不正アクセス、変更、開示から個人情報を保護するための合理的な措置をとる

オーストラリア・カウンシルは、助成申請の審査のために、この個人情報の一部をピアに提供します。ピアは、その役割の遂行中は、1988年プライバシー法の要件を遵守しなければなりません。

ピアは、アクセスしている個人情報を紛失したり、ピア以外の者が不正にアクセスしたり、情報が第三者に開示された場合は、直ちにカウンシルの職員に通知しなければなりません。例えば、ピアのノート型パソコンや申請書が入ったUSBが紛失または盗難に遭った場合や、ピアのオンライン・アカウトがハッキングされた場合などです。

会議の終わりには、ピアは審査資料の全てのコピーをカウンシルの職員に返却し、個人のプライバシーと関係情報の機密性を保護する適切な方法で申請書と補足資料のデジタルコピーを破棄しなければなりません。

p.10

会議終了後に、不採択の理由について意見を求める申請者や関係者から直接連絡があった場合は、ピアはその情報を提供できる立場にないこと、申請者はオーストラリア・カウンシルの職員に連絡するべきであることを丁寧に伝える必要があります。

ピアの責任

ピアには以下のことが求められます。

- 過去にカウンシルの助成を受けた場合は、それを適切に完了している
- 会議の前に、助成プログラムの説明、審査基準、全ての申請書と関連文書・補足資料を読む
- カウンシルの方針（利益相反、守秘義務、プライバシーなど）を常に遵守する
- 審査パネルに専門的アドバイスを提供する
- 公開された審査基準とプログラムの説明のみに基づき、カウンシルの方針と指示に沿って、全ての申請を審査する
- 助成を受ける申請の優先順位について合意形成する

カウンシルの職員の責任

カウンシルの職員は以下のことを行います。

- カウンシルの方針を常に遵守しながら、各助成プログラムの申請を検討し、適格性を判定する
- ピアが申告した申請や申請者との関係性が利益相反にあたるかどうか、それらをどのように管理すべきかを判定する
- 会議の手順が確実に守られ、公平で説明可能な決定が行われるよう審査パネルの各会議を円滑に進める
- 審査会議中にピアの慎重な審議に役立つ事実や背景情報を提供する

p.11

ピア審査のプロセス

オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツは、ピア審査での熟考に基づく意思決定モデルを採用しています。このモデルは以下のように機能します。

- 意思決定の「基準」は、申請が、公開されている選考基準にどれだけ合致しているかである
- 意思決定の「方法」は、ピア審査員間の根拠のある議論に基づくパネル内の相互合意による

各審査パネルは同様のプロセスに沿っています。

- 個人は、特定の会議のピアとして契約する
- ピアは、役割についてガイダンスを受ける
- ピアには申請資料へのオンラインアクセス権が与えられる
- ピアは資料を検討し、基準に照らして各申請を個別に採点する
- ピアは、直接または遠隔で（電話会議、ビデオ会議など）審査会議に参加し、申請について議論し、パネルの議論に照らして助成の推薦を検討する機会をもつ
- パネルは、助成の推奨の基礎となる申請の価値の最終的な順位について同意する

オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ・オンライン・システム

ピアは、職務を遂行するためにオーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ・アプリケーション・マネジメント・システム (AMS) にアクセスする必要があります。AMSは、ユーザー名とパスワードでアクセスされ、ピアによって次の目的で使用されます。

- 連絡先の更新
- ピアとしての登録
- ピア審査員契約の受諾
- 審査するパネルの申請書および補足資料へのアクセス
- 申請の採点と推薦の入力

p.12

カウンシルは、ウェブサイトおよびオンライン・システムが、W3Cが策定したウェブ・コンテンツ・アクセシビリティ・ガイドラインに準拠するよう努めています。ウェブサイトとAMSは現在、レベルAA達成基準^{【訳注2】}を満たしています。

申請資料

ピアは、AMSを通じて申請書や補足資料にアクセスします。

ピアのアクセシビリティ要件を満たすために、他のフォーマットも提供できます。たとえば、音声説明や字幕付きの動画などの補足資料です。

ピアには、会議の前に提供された資料を読み、公開された選考基準に照らして各申請の審査を終えていることが望まれます。審査は次の2段階で構成されています。まず基準に照らして採点し、その後、そのスコアを使用して申請が助成可能かどうかを判定します。

採点

申請の審査は通常、AMSを通じて行われます。ピアは、申請が公表されている当該助成プログラムの選考基準をどれだけ満たしているかを採点し、これらの基準が確実に、決定に際して適切に考慮されるようにします。スコアは審査プロセスを支援するためのツールであり、助成するかどうかの議論の対象となる申請と、ならない申請を迅速に判断することができます。1~7の数値は以下の意味を示します。

- 7 非常に高い
- 6 高い
- 5 良い
- 4 中程度
- 3 平均以下
- 2 低い
- 1 非常に低い

ピアは通常、各申請の基準に照らしたスコアをオンライン・

スコアカードに入力します。ピアが一貫して採点できるように各助成カテゴリーごとに採点ガイドが策定されています。

p.13

助成のための推薦

ピアが基準に照らして申請を採点すると、助成を推薦するかどうかを尋ねられます。各基準で与えられたスコアに基づいて、申請を推薦できます。これを助けるために、助成可能な申請のベンチマーク・スコアが各基準に設定されています。たとえば、芸術的価値は7点満点で5点以上が、申請推薦のベンチマークです。採点ガイドには、各基準のベンチマーク・スコアが記載されています。

- もし、ピアが申請のスコアを基準点以下にしている、その申請の助成を推薦したい場合は、ベンチマークまでスコアを上げなければならない
- もし、ピアがベンチマーク以上のスコアをつけているが、その申請の助成を推薦したくない場合は、基準スコアを変更せずにスコアカードの「助成可能」欄で「いいえ」を選択して保存することができる

最終的に、パネル全体で合意したランキングと、申請を推薦したピアの総数のみが、永久にファイルに記録されます。個々のピアの審査は、会議の公式記録の一部にはなりません。個々のピアの検討の電子記録は、決定に対する不服申し立てがあった場合に備えて、審査会議の後、破棄されるまでの限られた期間のみ保存されます。

会議にて

審査会議はシドニーのオーストラリア・カウンシルのオフィスで開催されます。

カウンシルから派遣された職員は、会議の審査プロセスを進行しますが、申請の審査や採点は行いません。進行役は会議のプロセスを管理して、ピアが審議に集中し、時間を守り、行動規範を遵守できるようにします。

もう一人のカウンシル職員は、通常はアーツ・プラクティス・ディレクターであり、主題に関する専門知識、背景および助言をピアに提供し、審議を支援します。

ピアはこの時点で、申請や申請者との間に、先に申告した以外のつながりや関係がないかを申告するよう求められます。職員が利益相反があると判定した場合、ピアは関連項目の審議中は退席し、推薦をスコアカードから削除するよう求められることがあります。

p.14

助成申請を推薦したピアの数と平均スコア（全ての基準に対するパーセンテージ・スコア）は、その助成プログラムの最

初のランキング付け、または申請の並び替えのために使用されます。この情報は、会議中に共有されます。

ピアには、助成の議論対象となる申請の範囲と、擁護したい他の申請について議論する機会が与えられます。ピアは、次のような形で熟議することが奨励されます。

- 自分の経験、専門知識、見解の理由を共有する
- 他の見解が正当であり、意思決定者は平等であると認識する
- 異なる見解やその理由についての共通理解を深める

検討する申請の数によっては、全ての申請が議論され、再ランク付けされるとは限りません。

ピアは、会議の前に行う審査に拘束されません。慎重な意思決定プロセスの一環として、パネルは全員で、どの申請をどの順序で助成に推薦するかについての判定を変更することができます。

進行役は、参加している個々のピアが、申請の決定や助成の推薦に過度の影響を及ぼしていると感じた場合には、会議から退出するよう求めることがあります。

報告、予算および承認

各会議の終わりに、いくつかのレポートが作成されます。

— 以下を含むレポート

- 各申請のランキング・リストと、助成を推薦したピアの数
- 会議に参加したピア
- 全てのピアおよび会議の進行役による、ランキングが真正の記録であることの証明

— 確認された利益相反とそれへの措置を要約したメモ

全てのパネルおよび助成カテゴリーで、ランク付けされた申請のリストが確認されると、カウンシルの職員は各パネルが決定したランキング順に助成金を割り当てます。割り当ては、カウンシルのエグゼクティブ・チームによって承認されます。

p.15

カウンシルの管理権限フレームワーク（Administrative Authorisations Framework）の下では、CEOと理事会の議長（議長が不在の場合は副議長）は共同で、特定の助成やプロジェクト、取組への資金提供を認めるピアまたはエグゼクティブ・ディレクターの推薦を一時停止することができます。そのためには、CEOと議長は以下に従います。

- 関連するピアおよびエグゼクティブ・ディレクターと協議しなければならない
- この権限は、プロジェクトの成果が全ての適用法を遵守していない場合、あるいは、カウンシルの評判を落とすと合理的に判断される場合にのみ行使される

この見直しは、例外的な状況下でのみ行われます。

通知とフィードバック

ピアには、AMS にログインして助成を受けた申請を閲覧するようにとのメールが届きます。1~2日後、申請者に電子メールで決定が通知されます。

カウンシルの職員は、通知後、全体的なランキングとピアの具体的なコメントをまとめて、申請者にフィードバックを提供します。ピアは、申請者にフィードバックを提供しないように再度通告されます。連絡があった場合は、ピアは申請者に対し、オーストラリア・カウンシルに連絡して詳細を確認するよう案内する必要があります。

申し立て手続き

申請者が、正当な手続きが守られていないこと、または自然的正義 (natural justice) が否定されたことを証明できる場合、カウンシルの法務責任者 (General Counsel) に、公開されている決定見直し根拠の2つのうちの1つを裏付け証拠として提供して、決定の見直しを求めることができます。申し立て手続きの詳細については、[付属資料 2](#) を参照してください。

p.16

ピアの報酬と資格

出席費

ピアは、審査パネル会議への参加に対する出席費を受け取ります。以下の出席費は2019年9月から有効です。

パネル会議の審議時間	出席費 (1日あたり)		
	3時間以上の会議	2~3時間の会議	2時間未満の会議
出席費	750.00 豪ドル	450.00 豪ドル	300.00 豪ドル

報酬裁判所^{【原注1】}の指示に従い、これらの料金は支払われる合計額であり、GSTが含まれます^{【訳注3】}。ピアは、全ての課税義務を順守する責任があります。

旅費手当

審査会議に出席するために移動し、宿泊するピアには旅費手当が支給されます。手当は、移動時間、宿泊数、および審査会議中にカウンシルが提供した食事に基いています。手当は、食事および発生した付随的費用をカバーするために提供されます。

手当は審査パネル会議の後に支払われ、請求書に記載する金額はカウンシルが通知します。

以下の表に、旅費手当の料金を示します。これらの料金も報酬裁判所によって設定され、GSTが含まれます。

以下の旅費手当は、2019年8月から有効です。

【原注1】 報酬裁判所、オーストラリア政府、報酬裁判所 (非常勤公職者の報酬および手当) 2019年決定 (Remuneration Tribunal (Remuneration and Allowances for Holders of Part-time Public Office) Determination 2019)。

p.17

一泊滞在当たり (場所)	旅費手当上限*
シドニー	415 豪ドル
アデレード	372 豪ドル
ブリスベン	421 豪ドル
キャンベラ	410 豪ドル
ダーウィン	457 豪ドル
ホバート	360 豪ドル
メルボルン	392 豪ドル
パース	409 豪ドル

地方の中心都市にはそれぞれ異なる料金が適用されます。
*旅費手当上限には、宿泊費、食事代、諸費用が含まれます。

旅費手当の食事代と諸費用は下表の通りです。

旅費手当の食事代と諸費用

	高コストの中心都市*	その他の中心都市
朝食	31 豪ドル	29 豪ドル
昼食	44 豪ドル	29 豪ドル
夕食	61 豪ドル	57 豪ドル
諸費用	29 豪ドル	29 豪ドル
合計	165 豪ドル	144 豪ドル

*高コストの中心都市には首都やその他の特定された中心都市が含まれます。

p.18

ピアの役務契約

審査パネルに参加するピアは、カウンシルと役務契約を締結します。この契約書には、ピアが行うサービスの内容、サービスがいつ、どこで行われるか、サービスの料金、カウンシルの方針や行動規範の遵守を含むその他の関連する要件が概説されています。

ピアは、AMS で契約書を閲覧できるようになったことを知らせるメールを受け取ります。ピアは、審査する申請書や補足資料にアクセスするためには、この契約書に同意しなければなりません。

契約を受諾する際には、ピアは支払い先銀行口座、および ABN^{【訳注4】} と GST のステータスを入力するよう求められます。ABNを持っていない場合、サプライヤーによる声明書^{【原注2】}に必要事項を記入し、カウンシルの職員に送信できます。ピアは、団体の銀行口座への支払いを選択することもできます。

アクセシビリティ

カウンシルはピアと緊密に連携して、審査プロセスにアクセスできるようにします。職員は、以下を含むさまざまなサービスとサポートを手配できます（ただし、これらに限定されません）。

- 手話通訳の提供
- 申請資料の字幕や音声説明を提供
- 育児や他のケア責任に対応
- リモートでの会議参加の支援

カウンシルは通常、これらのサービスについてピアと協議し、同意を得た上で手配します。場合によっては、カウンシルの同意のもと、ピアが自分でこれらのサービスを手配し、審査会議後に費用の払い戻しを選択することも可能です。

【原注2】 書式は以下からオンラインで入手可能。
<https://www.ato.gov.au/uploadedFiles/Content/MEI/downloads/Statement%20by%20a%20supplier.pdf>

p.19

移動と宿泊

カウンシルの職員は、通常、カウンシルの指定旅行会社を通じて事前にチケットや宿泊を含む全ての旅行を手配します。ピアが会議に参加するために宿泊する場合、他の旅費は既定の日当料で承認されます。

カウンシルが管理するホテルのチャージバック・サービスは宿泊費のみを対象としており、ピアはホテルでの追加料金を支払うこととなりますのでご注意ください。

ビジネス利用と個人利用を組み合わせた旅行には、FRINGE・ベネフィット税^{【原注5】}が課せられる場合があります。この場合、ピアは税金を支払う義務があります。

タクシー料金

審査パネル会議に出席する旅行のためにピアにキャプチャージ™バウチャー^{【原注6】}が発行される場合があり、通常は会議の1週間前にピアに送付されます。未使用のものは全て、会議直後にカウンシルの職員に返却する必要があります。

支払い方法

審査会議後、出席費と発生した旅費手当の支払いを自動的に行います。通常、会議後2～3週間以内に指定された銀行口座に直接支払い、支払明細を発行します。

カウンシルがその他の諸費用を支払うことに同意した場合、ピアはカウンシルの職員に領収書を発行しなければなりません。

料金を団体宛てに支払うように依頼するピアは、カウンシルの職員に有効な納税処理用請求書（tax invoice）を発行する必要があります。カウンシルの職員は、請求書に含める金額を確認します。参考のため、**付属資料 3**に税務処理用請求書のテンプレートを示します。

p.20

付属資料 1：利益相反

この付属資料には、ピアの利益相反につながる可能性のある最も一般的なつながりや関係の例が記載されています。ピアは、カウンシルが適切な措置を判定できるように、審査会議の前に、これらの関係、または他の同様の関係をカウンシルの職員に通知する必要があります。

申請内容との相反

あなた、あなたの身近な人、またはあなたが働いているか関係している団体が、

- 申請書に記載されており、助成によって金銭的利益を受け取る
- 申請書に記載されているが、助成による金銭的利益を受け取らない
- 申請または申請者への推薦状を提供したが、プロジェクトには関与していない
- 申請書に記載されている誰かと契約上の紛争中である
- 申請書に記載されている誰かと過去2年間に仕事をしたか、協力したか、現在彼らと仕事をしているか、または近い将来に彼らと仕事をする

申請者との相反

- 申請者があなたに近い人である（これは個人的および/または職業上の関係である可能性がある）
- あなた（またはあなたの身近な人）が、申請者に雇用されているか、過去2年間に雇用されていたか、近い将来彼らに雇用される
- あなた（またはあなたの身近な人）が、申請者の理事会、運営委員会、または助言グループにいる
- あなた（またはあなたの身近な人）が、過去2年間に申請者と仕事をしたか、協力したか、現在彼らと仕事をしているか、近い将来に彼らと仕事をする
- あなた（またはあなたの身近な人）が、申請者と契約上の紛争中である

p.21

付属資料 2：法に則った意思決定の枠組

権利と責任

2013年オーストラリア・カウンシル法 (*The Australia Council Act 2013*) は、文化芸術活動において自由を表現する権利を尊重しています。この義務を果たすために、助成は、さまざまなコミュニティの中で、そしてそのコミュニティとともに活動する個人・グループ・団体に与えられます。カウンシルの支援は、助成を受けた活動に関わるアーティストや参加者の見解をカウンシルが支持していることを意味するものでも、決定づけるものでもありません。カウンシルからの助成金を受け取る際には、オーストラリアの法的枠組の中で合意された活動を行うことが求められます。

意思決定のための公的説明責任

意思決定者としてのピアの主な責任には以下のものがあります。

- 適切な法的要件の遵守

ピアは決定を下す前に、自身はその権限を持っているか、確立された手順に従っているかを確認しなければならない

- 自然的正義 (natural justice) と手続き上の公正さの提供
助成の推薦を行うピアは、申請者に手続き上の公正さを提供しなければならない。例えば、適格性に関する公開された基準を正当な通知なしに変更したり、利益相反が助成の決定に影響を及ぼすようなことがあってはならない

- 事実の確認

ピアは、決定を裏付ける証拠が十分かつ正確であり、全ての前提条件が満たされていることを確認する必要がある

- 不適切な権限行使の回避

ピアは、無関係な事項を考慮せず、特定の申請またはケースの価値のみを考慮していることを確認する必要がある

- 公平性

ピアは、不合理、不当、抑圧的、または差別的な行動を避けなければならない

p.22

適正手続きと自然的正義 (natural justice)

行政法は、意思決定が客観的に偏りなく行われるという重要な権利を申請者に与えています。関連する法律には、1976年オンブズマン法 (*Ombudsman Act 1976*)、1977年行政決定 (司法審査) 法 (*Administrative Decisions (Judicial Review) Act 1977*)、1982年情報の自由法 (*Freedom of Information Act 1982*)、1984年性差別法 (*Sex Discrimination Act 1984*)、および1988年プライバシー法 (*Privacy Act 1988*) などがあります。

苦情または異議申し立ては、連邦裁判所、オーストラリア情報委員会、または人権または差別禁止委員会に提出すること

ができます。申請内容の芸術的価値についての審査には法的な正当性はありません。異議を申し立てる際は、審査が正当なプロセスを踏まなかったことを示す必要があります。また、申請者は、カウンシルの決定検討委員会での助成決定の内部見直しを求める権利があります。申請者は決定検討において、以下の公開された2つの理由のいずれかが守られなかったことを示すことができます。

1. 申請書を提出する前にオーストラリア・カウンシルの職員が誤った助言や情報を提供したことにより、申請書の準備に悪影響を与えた場合
2. 公表されている情報、または審査後のフィードバックに基づき、申請書が公開されている審査プロセスまたは申請した助成カテゴリーの基準に従って審査されなかったと思われる場合

善管注意義務

ピアは、カウンシルへの関与に関連して申請者や一般の人々とコミュニケーションをとる際に、他人に危害や傷害を引き起こさないように「注意義務」があることを認識してください。

カウンシルは、ピアからの誤った助言に基づいて行動した申請者が被った損害について金銭的責任を負う場合があります。そのためピアは、関連するカウンシルの職員に助言を提供する際に、詳細または申請者固有の事項に言及する必要があります。

差別禁止法と方針

法律により、オーストラリア政府は全ての適格な応募者に平等な機会を与え、所属する政党、宗教、ジェンダー、階級、民族、性的指向^[脚注7]、婚姻状況、妊娠、年齢、身体的または精神的障害による応募者に対する差別を禁止しています。

p.23

カウンシルのカルチュラル・エンゲージメント・フレームワーク (CEF) は下記にあり、カウンシルの助成や取組へのアクセスの公平性を確保することを目的とした多様な方針、戦略、プログラムを包括的に提供しています。

<http://www.australiacouncil.gov.au/about/cultural-engagement-framework/>

CEFには、オーストラリア先住民、障害のある人々、多文化の国民、若者、地方または辺境のコミュニティなど、いくつかの特定の人口統計的コミュニティが含まれます。これらのコミュニティへの助成やピア審査への参加を増やすための戦略は、カウンシルの行動計画に組み込まれています。

付属資料 3: 団体の税務処理用請求書サンプル

税務処理用請求書

アーツ・オーガニゼーション株式会社
ブルシャ通り15
フェスラー NSW 2755

ABN : 32 123 456 789
日付 : 2019年9月14日
宛先 : オーストラリア・カウンシル・
フォー・ジ・アーツ
ユニオン・ストリート 60
ピアメント NSW 2009

件名 : 音楽審査会議
ピア審査員 : ジョン・スミス

説明	基準額	GST	合計
1×出席費日当	668.18 豪ドル	66.82 豪ドル	735.00 豪ドル
旅費手当	228.18 豪ドル	22.82 豪ドル	251.00 豪ドル
払い戻し			該当なし
合計	896.36 豪ドル	89.64 豪ドル	986.00 豪ドル
GSTを除く 合計			896.36 豪ドル
未払いの GST総額			89.64 豪ドル
GSTを含む 支払い総額			986.00 豪ドル

銀行口座名 : アーツ・オーガニゼーション株式会社
銀行 : コモンウェルス銀行
BSB 番号 : 123 456 口座番号 : 1100 2200

- 【訳注1】 本ハンドブックの原文では、先住民について「アボリジニとトレス海峡諸島の人々 (Aboriginal and Torres Strait Islander peoples)」および「先住民 (Indigenous)」という用語を使用しているが、本報告書ではより一般的な用語としての「先住民」に統一した。
- 【訳注2】 障害者にもアクセスしやすいように、テキストや音声、映像などのユーザーインタフェースのあり方を示したW3Cのウェブ・コンテンツ・アクセシビリティ・ガイドラインに照らして、3段階中2番目のレベル。
- 【訳注3】 Goods and Service Tax (物品サービス税)。国内で消費されるほぼ全ての商品、サービスに取引価格の10%の税が課される。
- 【訳注4】 オーストラリア商務登記官が発行するオーストラリア・ビジネス・ナンバー (Australia Business Number)。企業や個人事業主による政府の助成金や補助金の申請、納税などの公的手続きの際に広く使用される。
- 【訳注5】 現金以外の特典や特定の現金手当を従業員やその親族などの関係者に支給した場合に雇用主に課せられる税金。
- 【訳注6】 キャプチャージ・オーストラリア社のタクシー利用券。TMは商標を表す。
- 【訳注7】 原文のsexual preferenceには「性的嗜好」の訳もあるが、一般的に差別禁止に関する文脈でsexual orientationの訳語として用いられる「性的指向」を採用した。

オーストラリアにおける
文化芸術活動に対する
助成システムに関する実態調査 報告書 [別冊]

[委託元] 独立行政法人日本芸術文化振興会
〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1
<https://www.ntjac.go.jp>

[受託先] 株式会社文化科学研究所
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-43-7 光ビル4F
<https://www.ifa.co.jp>

発行日 令和2年9月

無断複写・転載はお断りします。

独立行政法人日本芸術文化振興会
委託事業

オーストラリアにおける
文化芸術活動に対する
助成システムに関する実態調査
報告書 **別冊**

令和2年9月

株式会社文化科学研究所